

よ さ の

水・緑・空  
笑顔ががやぐ 未来あいのまち



第28号

2013年  
5月10日発行

Yosano Town Council

# 議会だより

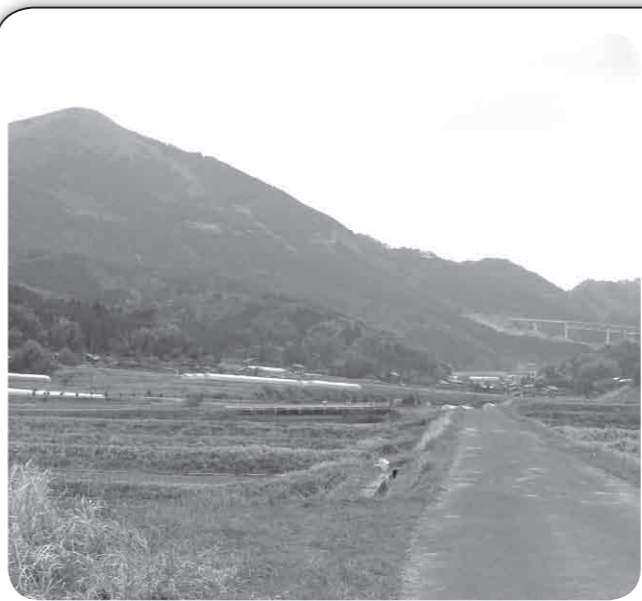
クローズアップ	2
新年度予算	4
議員定数の削減	12
後期基本計画決定	14
一般質問	15

岩滝小学校の入学式

# 3月議会の クローズアップ

## 第1次町総合計画 後期基本計画を議決

前期基本計画が平成24年度で満了し、平成25年度から平成29年度までの5カ年間の基本計画が決定された。  
重点的に取り組む施策として「地域経済の活性化」「安心・安全の基盤整備」「子どもたちの健全な成長」「地方分権時代に対応した自治体改革」の4本柱で構成され「自助・共助・商助・公助によるまちづくり」を引き続き実践する計画となっている。



## 議員定数削減が 賛成多数で可決

長期間にわたって議会活性化委員会等で検討されてきた議員定数削減の案件が、白熱した議会討論を経て現在の18人から2人減の16人にする条例が制定された。来年4月の改選から実施される。



## 大江山運動公園 体育館改修事業

1億156万円

老朽化による雨漏りなどにより利用に支障をきたしているため、屋根などの大規模改修を行う。

## 道路新設改良事業

1億7653万円

明石香河線、岩屋川線、石川上山田線など安全で利便性の高い道路環境になるよう実施。

## 加悦中学校改築工事の実施設計

5550万円

職員不祥事で計画が遅延しているが、改めて実施設計を行う。

## 特別職・一般職の給与、議員の報酬減額

削減額合計 3818万円

厳しい財政状況から、財源確保を図る目的で、町長、副町長、教育長、議員は5%・職員は3%の給与カットを今年の4月から1年間実施する。

## 京力農場づくり・ 明日の京都村づくり事業

1585万円

地域へるみで人と農地の課題を解決し、元気な村や集落づくりを支援する。



## 「第3回全国 女性町長サミット」 を与謝野町で開催

1500万円

5名の女性町長が一堂に会し、地方自治や町づくりについての情報交換、地域間交流を行うもの。

## ひまわりイベント事業

440万円

今年から「リフレカヤの里」エリアでリニューアル実施する。



## 不法投棄の 防犯カメラ設置

145万円

悪質な不法投棄を防止するため、赤外線カメラを設置し監視を強化する。

## 阿蘇シーサイド・グラウンド ゴルフ場整備される

旧岩滝町からの継続事業であった都市機能用地の活用について、グラウンドゴルフ場として利用されることへ決定。

# 加悦中学校改築 通学路の整備

一般会計予算  
109億9100万円

水・緑・空 笑顔かがやく  
ふれあいのまちをめざして

# 地域防災計画を推進

## 全員賛成で可決

(単位 万円)

一般会計	25年度予算額	24年度予算額	前年対比	
	109億9100	112億2640	-2.1%	
特別会計	25年度予算額	24年度予算額	前年対比	
簡易水道会計	9億6340	11億8780	-18.9%	
宅地造成事業会計	1億2577	1億7491	-28.1%	
下水道会計	16億5363	17億1899	-3.8%	
農業集落排水会計	3810	4098	-7.0%	
介護保険会計	事業勘定	24億9740	23億3573	6.9%
	サービス事業勘定	1157	1402	-17.5%
土地取得会計	35	35	-1.7%	
国民健康保険会計	事業勘定	29億0310	30億0220	-3.3%
	直診勘定	9800	1億2750	-23.1%
後期高齢者医療会計	2億5740	2億4350	5.7%	
財産区会計	8317	7995	4.0%	
計	86億3189	89億2593	-3.3%	
水道事業会計	25年度予算額	24年度予算額	前年対比	
収益的収入	1億4509	1億5692	-7.5%	
収益的支出	1億7261	1億8181	-5.1%	
資本的収入	50	95	-47.0%	
資本的支出	7422	1億1203	-33.8%	

※端数整理のため表内計及び前年対比が一致しないものがあります。

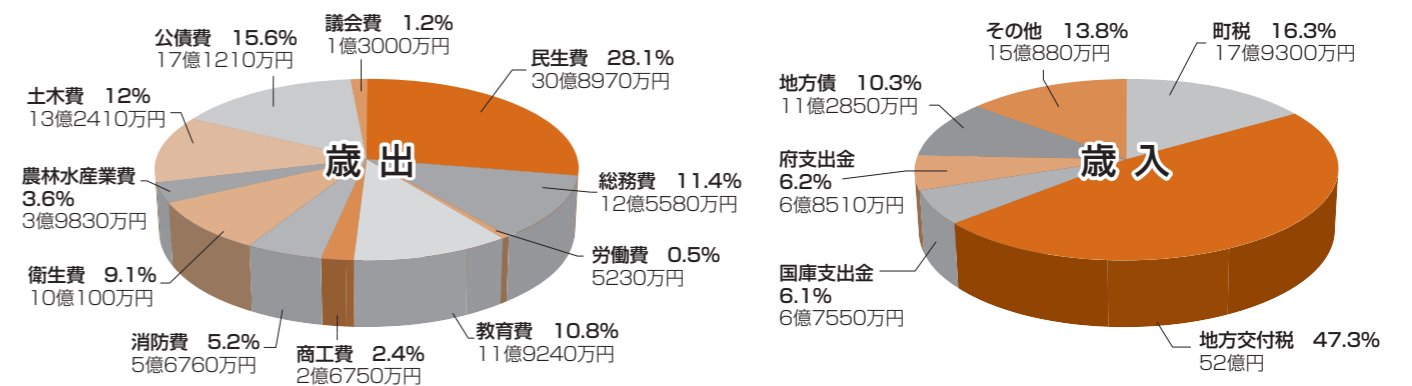
3月定例会は2月28日から3月27日までの28日間の会期で行われた。厳しい財政状況を踏まえ一般職・特別職の給与と、議員報酬をカットするなか、老朽化が進んでいる加悦中学校改築事業など将来に向けての予算審議がなされた。

これは大きな意味合いを持つことと思われる。なお、1月23日まで12月議会が延長され、第1次与謝野町総合計画の後期基本計画、公施設の指定管理者の指定などの議案が審議され、議決されましたので、今号で合わせて記載します。

一般質問は14名の議員がそれぞれの分野から熱い質問をしました。

3月定例会のトピックス

## 一般会計予算の内訳



**予算編成の概要**

平成25年度予算は、総合計画の後期基本計画および第2次行政改革大綱の初年度になることから、非常に重要な年になるとして、通常経費を5%圧縮するよう指示、編成されたが、社会保障費の増大などにより目標とした5%圧縮には到達できず、わずか1.1%の削減(全体では2.1%)に留まった。さらに各種団体等への補助金も5%カットを願っている。しかし、その中でも防災対策・学校施設や通学路の安全対策・DV被害者支援対策・自殺防止対策など「住民の安心、安全」を最優先に取り組み予算としている。

### 与謝野町流の行政運営

国のTPP参加や消費税増税などで、地域経済を壊し、社会保障の後退を狙っている。この下で、町の新年度予算は後期総合計画と2次行革の大事な初年度であり、通常経費5%削減をめざしたが目標に届かず、職員3%、特別職5%給与削減を行

伊藤幸男

### 賛成討論

い編成。その内容は浸水対策、学校整備、DV対策、集落営農支援、値上げを避けるための国保繰り入れなど「住民の安心安全」を最優先にした予算である。一層厳しくなる国の地方財政対策の下、与謝野町流の町政運営を期待する。

# 夢にむけ財政危機突破

野村生八

## 一般会計予算の質疑

**問** 厳しい財政状況だが、原因は町の失政ではなく国の地方財政計画にあることは明確だ。財政危機の突破は、福祉の削減など、謝野町の良さを削減することなく、総合計画の実現に向けて取り組むべきだ。

**答** 新たな財政見直しでは、人件費は適正な規模になった。しかし、事業の削減、仕事の仕方を変える、機構改革なしには、これ以上の人件費の削減は困難だ。

**企画財政課長** 人件費は類似団体並みに削減することをやめ、独自の削減計画で取り組む。投資事業が大幅に減

らされ、公債費が減額されているがまだ多い。これ以上は削減できないから、返済の繰り延べなどで、適正に抑えられる。財政見直しから、このような現実的な財政計画を作るべきだ。これにより、財政危機突破の展望は開ける。

**企画財政課長** まず、毎年の赤字をなくしていくことを重視して取り組む。

つた場合に備えてある。「中小企業振興基本条例」に沿ったまちづくりを進めていく。3法についても調査研究していくことが重要だ。

**教育委員会の透明化を**

**問** 府教育委員会の緊急調査で、府内公立学校(京都市を除く)などから142件の報告があった問題で、府教委は、60件を体罰と認定したと報道されている。町教委も町民に調査結果を公表する

べきだ。

**教育長** 議会の答弁で公表している。町教委のホームページを開設する。



整備が進む阿蘇シーサイドグラウンドゴルフ場



加悦谷ショッピングセンターウイル

## まちづくり3法が基本

杉上忠義

**問** 大店立地検討委員の謝金が予算化してある。同法に代わる新法として、「中心市街地活性化法」を中心として、地域の実情に適した「まちづくり3法」が制定されている。高齢化社会に適した、歩いて暮らせる「コンパクトシティ」を基本理念としたまちづくりをすべきだ。

**商工観光課長** 法に該当する店舗の進出計画があ

## 創業支援の充実が必要

谷口忠弘

**問** 例えば1500万円の事業費のうちで1000万円を借入れ、2人の新規雇用した場合の支援策と総額は幾らになるか。

**商工観光課長** 創業支援で100万円。

**問** 雇用促進で年36万円。借入れによる利子補給や保証料も可能だが金額は解らない。

**問** 創業支援はこうしたパッケージ化をする必要があると考えるが。

**商工観光課長** 施策の組み合わせで願いたい。

**任期最後の予算編成**

**問** 指示された5%歳出カットの目標が、なぜ実現できなかったのか。

**町長** 社会保障費などの

増大があり難しかった。

**問** 今後町民に負担を求めるなら説明が必要だが。

**町長** 地域懇談会で説明していきたい。

**厳しい財政を踏まえて**

**問** 阿蘇シーサイドにグラウンドゴルフ場が新設された。使用料の基準と今後は維持管理費に見合う使用料が必要と思うが。

**建設課長** 使用料は他の同施設を参考にした。多くの人に利用してほしい。

# 今後の農業のあり方は

伊藤幸男

**問** 農業集団や集落での意欲的な取り組みなど注目すべき変化がある。今後の町の農業は。

**農林課長** 食糧制度廃止の後、旧町で豆つこ事業ができた。安心安全な循環農業をさらに進めるこ



子どもの安全を

## 通学路の安全確保は

糸井満雄

**問** 町内の通学路で危険箇所として指定されている箇所は、平成25年度ですべて整備・解消されるのか。

**建設課長** 平成24年9月補正で区画線の設置など、一部整備したが、なお平成24年度国の大型補正に合わせて整備を行う予定。さらに平成25年度予算で引き続き整備を行う。

**問** 全国的に医師の絶対数不足で、京都府は日本でも医師は多い方だが、北部の医師不足は深刻で、医師の定着化問題もある。

与謝の海病院は4月から府立医大・北部医療センターとして準備がされており、総合講座や救急医療講座が開かれ多くの医師が集まる。その点は期待するが、町も医師確保を考えるべきで、医師確保奨学金を利用しやすい制度になるよう、宮津市とも努力して頂きたい。

**保健課長** 病院の人事で転勤される医師が多い。

**問** 与謝野町公共建築物における地域産木材の利用促進に関する基本方針が策定された。これは可能な限り、町の施設に地域産木材を利用するといったものだ。25年度予算では、具体的にないが、加悦中で計画はあるのか。

**教育次長** コストの問題もあるが、検討・研究していきたい。

## 医師の定着化を

和田裕之

**問** 全国的に医師の絶対数不足で、京都府は日本でも医師は多い方だが、北部の医師不足は深刻で、医師の定着化問題もある。

与謝の海病院は4月から府立医大・北部医療センターとして準備がされており、総合講座や救急医療講座が開かれ多くの医師が集まる。その点は期待するが、町も医師確保を考えるべきで、医師確保奨学金を利用しやすい制度になるよう、宮津市とも努力して頂きたい。

**保健課長** 病院の人事で転勤される医師が多い。

## 急がれるプラン作り

有吉 正

**問** 今、引き受け手のない農地が増えている。京力農場づくり事業は。

**農林課長** 24の地域でこれからの農地をいかにして守るかを話し合い、方針を出していく。

**問** 岩屋は圃場整備ができていないので大変だが、課に集落プランづくりを1人を配置する。現在4地域でプランができています。

**教育委員会の役割**

**問** 体罰問題がマスコミを騒がせている。地域の子を教え諭すが、先生の仕事。教育委員会の役割ではないか。

**教育長** より教育現場を指導していく。

**問** 町内の通学路で危険箇所として指定されている箇所は、平成25年度ですべて整備・解消されるのか。

**建設課長** 平成24年9月補正で区画線の設置など、一部整備したが、なお平成24年度国の大型補正に合わせて整備を行う予定。さらに平成25年度予算で引き続き整備を行う。

**町営住宅の維持管理は**

**問** 町営住宅の今後の維

持管理は、どのような計画となっているのか。

**建設課長** 今後の住宅施策は、町営住宅長寿寿命化計画に基づき整備を進めたい。

**問** 宮津市内の一部の学校が橋立中学校に統合することが検討されているが、受け入れ態勢は。

**教育長** 学校環境整備は市・町を超えた喫緊の課題であり、今後宮津市と十分協議する。



地域医療の充実を



テレビ取材中のちりめん街道

## ちりめん街道保存修理

勢旗 毅

**町長** 家屋の保存修理で設計業者が2社になつていくことについて疑義がある。審議会でも設計額が高いとの指摘もある。**教育推進課長** 町の指定ではないが、実際2業者になつていくようだ。課題でもあり、商工会にもお願いしている。

### 体育館の改修を問う

**町長** 大江山運動公園体育館の屋根は、ステンレスで、これが28年位で寿命とは考えられないが、**教育推進課長** 雨漏りが3カ所あること、壁面のガラスにも支障がでてくる。

## 予算編成方針の結果は

小林庸夫

**町長** 今年度予算編成方針の通常経費5%削減はなぜできなかったのか。**町長** 扶助費増加と特別会計への繰出し金が増えた原因。**町長** 既存事業の廃止・縮小の決定権は誰か。**町長** 町長にある。スクラップ&ビルドもせねばならない。**町長** 不転換の思いで町長自ら判断してもらわねば廃止・縮小にはつながらない。特別会計への繰出し金も多く、資金不足から借金を起こすことに。平成23年度の実質公債比率(借金返済) 全国市町村の平均は9.9%。与謝野町は16.4%だ。いずれ町民の負担となる。予算内容を見ても、人材育成、経済産業面への

## 防災意識の向上を

家城 功

**町長** 防災訓練が実施されたが、各自治区には取り組み方の格差を感じた。万が一の災害に備え、しっかりとした意識を持つことが大切であり、改善や見直しも必要では。**総務課長** 約9000人の参加を得た。内容については各自治区に任せて



まちの防災訓練

テコ入れが弱い。**町長** 見解の相違だ。自助・共助・公助・商助の思いで産業振興会議に行

政も関わっており、高く評価されている。人材も育ってきている。

## 削減の視点が違う

多田正成

**町長** 当初予算では5%の目標が実質2.1%の削減となった。事業や職員削減だけでいいのか。**町長** 職員の削減は目標に向かっている。**町長** 施設を含め基礎的な基盤整備、適正規模、適正配置を考えなければ、

### 体育館改修工事

**町長** 町民体育館としての位置づけをどう考えられるか。今は24000人の町として一同に集える町民体育館にするべきで、災害における避難場所も考えたりリニューアルが必要ではないか。**町長** 体育施設はそれぞれに必要で改修すればまだ20年は使える。

## 避難場所指定はまだか

宮崎有平

**町長** 京都府立与謝の海支援学校が、防災計画の避難場所に指定されていないのはなぜか。**総務課長** 京都府及びPTA等の関係者と協議が必要であり、現在、調整中である。京都府の許可が下りれば、計画のなかに位置づけをする。**町長** 消防団協力事業所表示制度の実施要綱に、消防団員が2人以上の事業所を認定することになっており、対象事業所は33社ある。今年度は30社の認定予定をしているが、1人の事業所も138社あり、1人の事業所は認定できないのか。また、協力事業所に認定されることのメリット



改修間近な大江山運動公園体育館

## 公共施設の長寿命化は

浪江郁雄

**町長** 橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、三河内大橋など改修される。すべての公共施設にも長寿命化計画を策定し、管理していくことが必要では。**町長** 利用



与謝の海支援学校



オータムフェスタ

## めざせ織物の復興

山添藤真

**問** 国内の和装業界だけでなく、海外の洋装やインテリア業界からの注目も高まりを見せ、この地域の織物をめぐる環境は少しずつ変化の兆しを見せている。

**商工観光課長** そうした変化は認識しており、対応していきたいと考えている。

**問** そうした場合、これ

### 推進しよう、民泊

**問** 当町において観光客の1日1人の支出額は780円。この数字が伸び悩んでいる理由のひとつに宿泊所が少ないことが挙げられる。農家や織物業者を中心として民泊の取り組みを進めてはどうか。

**町長** そうした機運の醸成をつくる必要があると感じている。

## 簡易水道特別会計予算の審議

簡易水道会計など10特別会計の審議は、所管常任委員会で報告説明と質疑を経て、本会議でも12人が質疑を行ない、全員賛成で可決した。

## 水道料金どうなるの

塩見 晋

**問** 簡易水道の財政計画によると25、26年度で7億円ほどの施設整備を見込んでいます。一方29年度より基金の取り崩しで値上げを回避しているが、

**水道課長** 計画で示している運営をしていくと数年で基金がなくなるので、早い段階からの値上げはさけて通れない。

## 有収率アップを

井田義之

**問** 個人宅で、メーターを通らない配管を業者が発見されたと聞くが、

**水道課長** 1件あった。引き込み辺りの漏水は解りづらい。メーター更新時に業者をお願いを。



水道メーター

## 借金肩代わり50億円

塩見 晋

**問** 地方交付税の不足額を町の借金として、毎年発行可能額の全額を借り入れしている臨時財政対策債が50億円を超え、町債残高の3割余りになっている。これは町財政の健全性を損ねているのでは。 **企画財政課長** 返済額の総額は交付税で入っている問題はないが、増大しているのも何らかの対応をとる必要があるのではと感じている。

**指定金融機関の検査** 9月議会で指摘した検査の状況は。 **会計室長** 京都銀行、北都信金の各1支店を検査した。各項目とも適正に行われていることを確認。JAは次年度で行う。



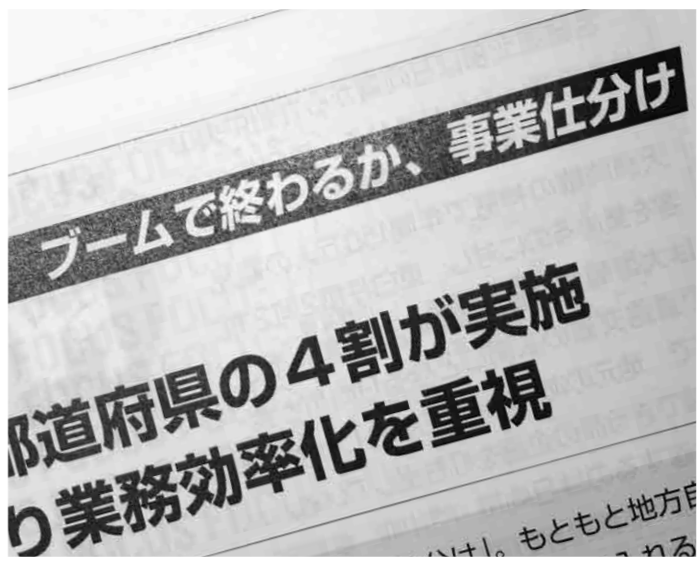
京都銀行岩滝支店

## 厳しい財政状況から特別職給与と議員報酬の5%削減の条例を決める

新年度予算の編成で、財源の逼迫から事業費の5%削減をめざした。しかし、目標にどこがずか、

## 一般職員の給与条例の改正3%削減

厳しい財政状況に鑑み、一般職員の給与も3%削減するところのもの。



まちに必要な事業仕分け

## 事業仕分で財政健全化

井田義之

**問** 財政の健全化には聖域なき改革が必要だ。例えば施設使用料の値上げ、ごみ有料化やサービスタ下も避けて通れない。指定管理の抜本的見直し、加えて事業仕分け審議会設置も必要だが考

**町長** それらすべてを再チェックし、町民の理解と協力が得たい。事業仕分けも皆さんの力を借り町ぐるみで進める。

## 実質減額になってない

家城 功

**問** 3%の給与減額改正案だが、実態は職務階級の見直しにより増額になる職員もある。「厳しい財政状況下、財源の確保を図るため」という提案理由には矛盾を感じていないと思う。

**町長** 給与改正と職務階級の見直しは別のもの。増額になる人もあるが、本来あるべき方向に戻すためであり問題は全くないと思う。

## 職員の働きと待遇は

伊藤幸男

**問** この数年間の町職員の働きをどう思うか。他町の給与と比較は。 **町長** 職員は合併前から事務量も増え、職員数が減少する下、給与削減が続くなか、業務に邁進してくれた。他町の方々からも評価され、本町によく頑張ってくれた。今回の3%削減も理解を示してくれた。

1720団体中1512位。府下23団体中、最下位から3番目。ラスパイルス指数が99.8%。また、職員は消費者でもあり、町内消費では大きな貢献をしている。

**副町長** 本町職員は全国

# 議員定数を2人削減 16人に

賛成 11 反対 6 で可決

議会活性化特別委員会で協議し、審議では延べ8人の質疑と、7人の結論（現在の議員定数18人を2人減らし、16人に改正するもの）を、井田義之委員長から提案された。

## 拙速な条例の提案

有吉 正

**町民アンケートでは、議員定数が多い43%、報酬が多い58%である。5月に通年議会・委員会中心主義の勉強会を開く。活性化と併せ議論が尽くされていない。**

## 反対討論

有吉 正

**削減は定数より報酬を**  
町民アンケートを尊重するといながら、町民の声が反映されていない。議会は町民の縮図であり、定数の削減は若者や女性が立候補しづらくなる。今議会では提案ができなかったが、私たち有志の案「議員報酬月額12%（3万円）削減」で

は、議員定数2人削減より、年間約62万円議員報酬は少なくなる。「常任委員会が見えない」という意見が議会懇談会であった。宮津市京丹後市議会も委員会中心主義だ。18人・3常任委員会を維持すべきだ。

## 賛成討論

若者の参画を

山添藤真

私は「若者が参画しやすい議会」をめざす。この観点に立つと、定数を削減しても報酬を維持していくべきだと考えている。なぜなら、若い議員が選出され、より豊富な資金を持ち、一杯の活動をすることが、与謝野町議会の活性化につながる

## 賛成討論

小林庸夫

合併した町に与えられている特典も平成28年から段階的に削減され、平成33年度からは平成22年度と比べて国からの交付金が約12億円も減額されることがわかっている。議会費の占める率もわずかなものとはいえ、決して無視できない。行政部門とは違う目線での指摘・提案・チェックなど町民生活向上に向けて議員の使命・役目は16人になっても変わらない。また議会に対する町民の方々の声も多く聞いており、非常に厳しい選択肢のなかから議員定数2人削減に賛成する。



議員研修会

## 反対討論

議会活性化に反する

野村生八

定数削減は、町民の声にこたえるのではなく、町民アンケートは参考程度と答弁。近隣の状況も参考程度。財政が厳しいからというが、定数削減では財政危機が突破できない。削減の根拠はない。議会に求められているのは、財政危機を突破す

## 賛成討論

厳しい町民の声と財政

浪江郁雄

議員の報酬・定数が多いとのアンケートの結果だ。また、財政が厳しく町民に負担をお願いする前に、議員自ら身を切るべきだ。これらの理由により、報酬・定数どちらも削減の立場から、本議案に賛成する。

## 反対討論

アンケート結果を重視

塩見 晋

活性化と議員定数は直接係ることではなく、議員数は広報・広聴など、議会活動や議会の機能を重視して決めることである。報酬は財政の問題である。議会アンケートでは、議員数18人が適当は28%、多いは43%と半分以下。一方、報酬が適当

## 賛成討論

新たな議会改革の構築

勢旗 毅

地方自治体を取り巻く状況は、急変する時代背景のなかで、行政課題も増加し、量・質・機能の



議会懇談会



3月定例会初日の着物議会

部分からの改革が求められている。議会も自ら改革し町民の付託に応える必要がある。定数削減は時代の要請で、運営面の改善を図ること、よりスリムで開かれ、かつ、チェックし自ら提案する

議会を想定している。本町も女性議員を持たないことや、もっと多様な人々が参加する議会への脱皮が要請されており、これらを考えると議員報酬に手をつけることはできない。

# 総合計画・後期基本計画が 全会一致で決まる

## 質疑のべ19人、討論3会派で、活発な議論



裾野ひろがる与謝野の町

第1次総合計画は、平成20年度からの町の総合的な行政運営のための最上位計画である。平成29年度までの10年間の基本構想と、24年度までの前期基本計画で構成されていたが、前期計画の満了を迎えるため、1年前から総合計画審議会で協議検討を進め、町長に答申した。今回、平成25年度から29年度までの後期基本計画を提案されたもの。

総合計画審議会では、コンサルなど専門家に委託するのではなく、住民と職員が手作りで進められた。まちづくり町民アンケートと、パブリックコメントを集め、地域振興部会、教育・福祉・環境部会、産業・建設部会の3つの部会で延べ29回の審議を行なってきた。同基本計画は12月議会で提案されたが、町の重要計画であり、会期を1月までとし、1月22・23日の2日間で本会議審議を行なった。延べ19人から質疑があり、3会派からの討論があつた。多角的・総合的な議論が行なわれ、全会一致で、可決された。

その審議内容は、商工政策をはじめとする町づくりの中小企業振

### 待ったなし 幼保一体化

井田義之

園 検討するでは遅すぎる。岩滝幼稚園の耐震は、

町長 幼保一体的なモデルケースとして、25年度から具体的に進めたい。

町民の理解が必要であり、検討をしていただく。



未来をつくる子どもたち

### 賛成討論

リーダーシップ発揮を

今田博文

一般会計の47%を占める地方交付税が、算定替えにより12億円削減されるが、嘆いてばかりではいけない。ピンチをチャンスに変えるような発想の転換が必要だ。

今後は道州制導入の基本法制定も取りざたされているように、将来町の在りようも考えておかなければならない。総合計画の推進にはトップマネジメントの強化は不可欠だ。そして議会と町長部局が切磋琢磨することが2元代表制のもとで民意が多様に代表されていくことになる。

# 一般質問

Q 当初予算大幅削減ならず

A 厳しい財政事情の意識付けができた



有害鳥獣防護策

問

3年間で段階的に5%ずつの圧縮となるよう創意工夫を図るようになっていたが、町長が指示した総予算の大幅圧縮にならなかつたのはなぜか。

町長

社会保障費の増加などで難しいは果たせた。3年間で15%の削減は非常に困難であると実感している。住民にも痛みを伴うお願いをしたが、4億円余りの基金繰り入れ予算となつた。



塩見 晋

問

25年度当初予算と行政改革大綱案とのかわりは。

町長

財政収支の黒字化を最大目標とし、25年度を改革元年と位置付ける。任期中に最優先で取り組まれる課題は。

ここが聞きたい!

町長

子供たちにかかわる、教育・保育の環境整備に道筋をつけたい。

有害獣防護柵維持管理

問

国・府・町の補助を受けて、中山間地制度交付金の対象外の地域にも設置されている。設置後の維持管理についても助成が必要になると思うが。

町長

現在は、国・府の事業で該当するものがない。新たな財政負担は困難なので地域で検討してもらいたい。維持管理に適用できる制度の新設を国・府に強く要望している。



## Q 農村女性の家のあり方は

### A 地域相互交流の場としての活用をめざす



農村女性の家（大江山運動公園内）

**問** これまでもこの施設については、整備や充実をお願いしてきたが、一向に改善されず、これまで利用の中心であった「翹」をつくるグループも今春で終わりと聞く。町も農業の6次産業化を掲げていることから、加工研究の基幹施設として整備・充実を図る必要はないか。

**町長** この施設は、会議室を併用していることで、今後加工施設として新しい団体が認可を受けることは難しく、地域の相互交流や共同学習の場としての活用が中心になる。加工施設が必要な場合は、新たに整備する必要がある。



勢旗 毅

**問** 11月の入札では、2件の建築で、落札率97%を超えている。これはAランクが2社しかないという問題がある。ランク制そのものを見直す必要があるのでは。

ランク付けの見直しは

**副町長** 特定のランクに発注できる工事本数に偏りが生じていることが、現在のランク制における問題点である。各ランクに発注することができる発注基準の範囲を調整することで、これらの偏りを解消すべく現在検討している。

## Q 国の悪政の下、町の経済施策は

### A 振興条例を産業振興会議と共に具体化



産業振興会議と産建委員会の懇談会

**問** 政府がデフレ対策と言いつつなら、国民の購買力を増やす（正社員雇用を増やし、勤労者給与を上げる）こと、国の中小企業支援を抜本拡充することが最重要だ。社会保障のための消費税増税と言いつつ、無駄な大型公共事業を復活させ、社会保障に回さないどころか、削減をする計画である。これは来年4月からの消費税増税の条件作りが狙い。町民の暮らし向上

めざす中小企業条例ができて1年。地域経済対策を伺う。①産業振興会議の状況は②その施策の具体化は③経済施策の目標は④公契約条例は⑤職員待遇は。



伊藤 幸男

域循環経済のグルメリベントを予定。商工会青年部では経営理念作りを進めている③地域経済と地域社会の担い手である中小企業の振興で、町民生活を豊かにすることが目標④入札制度で地元優先、町内経済循環をめざしている⑤町の職員給与は全国1720団体中1512位。府下23団体中、最下位から3番目。

## Q 野田川庁舎の業務体制を問う

### A 機構改革とも関連し早急に示したい



野田川駅舎

**問** 「庁舎統合検討委員会」から「野田川庁舎本館」は耐用年数、耐震性などから閉鎖への提言が出された。野田川庁舎は3庁舎の窓口受付件数のなかで49%を占めるという一番利用度の高い庁舎である。住民サービスが低下することのないように配置職員は業務に精通された方の配置を望む。

地域が冷え込むことのないようアフターの活用方法とともに、自転車道に接している場所柄、敷地内に公衆トイレの新設を提案する。



小林 庸夫

**町長** 改修予定はないが障がい者、身体の不自由な人に対して、やさしいトイレとはいえず、観光の町として見直す必要があると感じている。

野田川駅を美しく

**問** 与謝野町唯一の駅舎だ。トイレの囲い壁部分だけでも改修が望まれる。公衆トイレなのにペーパーがない。観光、観光という割に無頓着ではないか。

## Q 良い環境下で平等により良い教育を

### A 最善の努力をし取り組んでいきたい



楽しく学ぶ子どもたち

**問** 当町の小中学校の子どもたちの学力レベルは。

**教育長** 全国平均レベルであるが課題もある。

**問** 課題に対しての取り組みは進めているのか。

**教育長** 指導体制の改善を図り、個に応じた指導の充実に努めている。

**問** 子どもたちが授業に関心を示すツールの一つに電子黒板の活用も有効である。取り組みは。



家城 功

**教育長** 機能を活かした有効活用を一層進めたい。

**問** 道徳教育もさらに充実を図る必要があるのでは。

**教育長** 各校で道徳的実践力の育成に努めている。指導の充実を図りたい。

**問** 教育推進は町がひとつになって取り組むべきと考えるが。

**教育長** 町全体が一体にならないと教育の進展は望めない。綿密な教育活動の計画を、質的向上に取り組みたい。

**問** 若手職員を中心に各種研修等を実施し育成の強化を図っている。

**問** 子どもたちは「町の宝」である。誰もが平等に良い環境下で、より良い教育を受けることが大切である。最善の努力を。

**教育長** 同感であり子どもたちが健全に成長できるよう最善を尽くしたい。

## Q 将来への発展的な削減策を問う

### A 百を超える施設の合理的改善が大きな課題



野田川体育館

**問** 益々財政は厳しくなるが、職員数をどこまで減らせば、町民のための施策を維持できるのか。あるべき職員数とは。

**町長** 合併当時320人、24年度当初267人、53人を削減した。そのため、臨時職員が増加。現在の施設数のまま現行サービスを維持するのは困難。職員採用3分の1程度の抑制方針は限界にきている。



多田正成

### 同種同様施設統廃合は

**問** 旧町からの引継ぎ施設が多い。統廃合には施設の調査分析が必要。「公共施設白書」を町民に公表し理解を求めるべきではないか。町民一人当りの施設㎡数は(全国平均3.42㎡)当町はいくらか。

**町長** 施設の調査分析は必要だが今はできていない。百を超える公共施設があり、合理的な施設数への適切な統廃合のタイミングが難しいが、ご意見を踏まえ対応する。

### 今後の特例債可能額は

**問** 特例債での今後の事業と残発行予定枠は。

**町長** 基金積立を除く事業分は約69億1300万円が今後の可能額。加悦中の改築に約10億円超を予定。施設統廃合の方向性を見出すことができれば、教育施設、農業施設、消防防災施設など施設整備をしていく。

## Q 組織の機構改革はどうする

### A 効率の良い行政機構にしたい



開所した福祉施設・やすらの里

**問** 予算5%カットは町民サービスにも影響がでる。大胆な行政組織の機構改革が必要と思うが。

**町長** 一律の削減方法では限界が必要である。合理的な改革で、良い行政機構にしたい。

### 福祉施設の安全性は

**問** スプリングラーの設置義務対象外の、小規模民間施設の安全性



宮崎有平

は。

**町長** 25年度には、事業所に対して、京都府の補助金を活用して、整備するよう指導していきたい。

### 名誉町民表彰の基準は

**問** WBCに出場する糸井嘉男選手は、日本野球界で大活躍している。

### 武道の必修化について

**問** 武道とダンスが完全必修になったが、弓道を取り入れた理由は。

**教育長** 体育の授業では柔道を学んでいる。弓道は3年生が礼儀作法や集中力を高めるための体験や経験をおこなった。

## Q 保育所・小中学校の安全対策課題

### A インターホン設置や来訪者の受付強化が必要



不審者進入を防ぐ「さすまた」

**問** 安心安全な地域には、防犯・防災の取り組みが重要だ。保育所・小中学校は安全な環境であるべきで、安全であってこそ親も安心して働ける。大阪などの小学校殺傷事件以後95%の学校で何らかの防犯対策がされた。反省点は、パニックで通報や周知遅れが指摘されたこと。

全国の学校保育所の犯罪件数は、盗難が多いが、不審者に遭遇すれば受傷事故にもなる。大切な子供たちを守る



和田裕之

には、不審者を侵入させないこと、有事には、非常通報装置より異常を早急に周知、警察到着まで身を守るには、護身具が必要だ。当町の取り組みは。

**町長** 緊急時自動通報装置は、保育所に24年度ですべて完了。護身用具は刺又を設置、催涙スプレー

### 住宅用火災警報器設置

**問** H24年度の宮津と謝管内での火災件数は、前年度より1件減少だが、4名亡くなられた。組合発足以来最も多い。一般的に死亡の6割が逃げ遅れた。火災早期発見、家族の命を守るには火災警報器が必要。100%設置に向けた取り組みと啓発を。

**町長** 組合や消防団とも連携して啓発していく。

## Q 若者の移住・定住の促進

### A 取り組みを進める



高校卒業後の進路選択を増やそう(加悦高)

**問** まちづくりで重要な役割を果たす存在として若者・馬鹿者・よそ者の3者の存在を挙げる人は少なくない。若者はエネルギーを、馬鹿者は突破力を、ヨソ者は新たな視点により地域資源を捉え直すアイデアを地域にもたらす存在と言われている。

当町においても3つの性質を備えた人材誘致を「Uターン促進政策」において進めていくべきだと考えている。見解は。



山添藤真

**町長** 商工業だけでなく、観光・農業・福祉・医療・教育・保健など様々な分野が連携することで、効果が表れるものだと考えている。京都府などとも連携し、取り組みを進めていきたい。

### 国立大学の開設を問う

**問** この地域で育つ子ども達に高校卒業後の進路の選択肢を増やしたい、新しい大学教育を模索していく必要があるという3つの主な理由から、京都府北部に大学をつくってはどうか。

**町長** 地域と大学との交流、連携によって取り組み、推進することが現実的な施策であると考えている。

**Q 資格を取れる福祉教育機関の誘致**

**A 困難であり関係機関との連携で取り組む**



人材を求める福祉の事業所（やすらの里）

**問** 安倍政権は、大型公共事業の大幅増進を遂げ、消費増税の増税分はすべてこれに使われ、また町でも福祉の大幅削減が始まる。また町でも、財政危機が迫っている。しかし、地方自治体は、どのような状況でも福祉を進める責任がある。福祉事業は経済波及効果が大きく、市場規模でも雇用でも、与謝野町の地

域循環型経済の大きな柱になっている。さらに福祉を進め地域経済を活性化するには、人材確保が大事で、資格を取れる教育機関を町内に誘致すべきではないか。

**問** 今後、与謝野町流の地域包括ケアシステムと地域福祉計画をどのように進めるのか。

**町長** 住み慣れた地域で誇りを持つて住み続けられる地域ケア体制を構築する。3地域での高齢者支援の取り組みを全町に広げる。地域福祉計画は、京都府の計画見直し後に、十分検討してから作成する。



野村生八

町で教育機関を持つのはきわめて困難である。関係機関との連携で取り組んでいく。

**Q 原発の住民避難計画をつくるべきだ**

**A 30キロ圏外だが策定する**



どうする住民避難

**問** 本町は高浜原発から30・5キロ圏内にあり、宮津市の4300人を受け入れる計画だ。どこまで進んでいるのか。

**町長** 宮津市からの具体的な避難方法やルートの設定。また、受け入れの方法や施設については京都府と協議する。

**問** U・P・Zが阿蘇海を横切っている。避難計画の義務付けはないが、住民の安心・安全のため、住民避難計

画を策定すべきだ。

**町長** 30キロ圏外だがつくっていい。

**自治基本条例が必要だ**

**問** 多岐にわたる住民ニーズや、財政難を乗り越えていくには、住民との協働や町民参加は欠かせない。



今田博文

そのために町民と行政及び議会の役割と責務など自治体を運営していく基本的な原則、自治基本条例の制定が不可欠だ。

**町長** 策定プロセスを大事にしながら踏み出してみたい。

**問** 「やすらの里」が3月にオープンした。マンパワーが不足しているという。

**町長** 看護師さんの確保が難しい状況だが努力したい。

**Q 町立幼稚園での3年保育の実施を**

**A 園児数不足の改善にはならない**



園児募集中・三河内幼稚園

**問** 就学前教育への関心の高まりや、社会情勢による子育て困難が広がるなか、3歳児からの3年保育の要望がある。また、三河内幼稚園の園児数不足は深刻だ。

**教育長** 現状は、岩滝幼稚園が園児数57人。三河内幼稚園は14人で、年々園児数が減少し、25年度は7人になる。

3歳児からの3年保育が実施できないか。

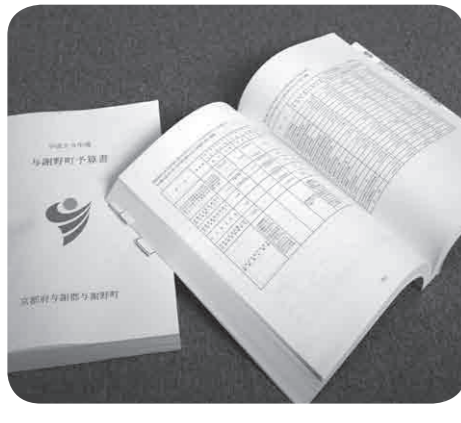
現状は、岩滝幼稚園が園児数57人。三河内幼稚園は14人で、年々園児数が減少し、25年度からは、夏休みなどの長期休暇期間まで拡大するが、飛躍的に効果が得られないと考えている。



浪江郁雄

**Q 財政運営と事業仕分けの取り組み**

**A 事業評価と事業見直しを進めていきたい**



平成25年度予算書

**問** 一般的に、首長は積極的予算を組もうとされるが、事業の選択と集中で予算規模を縮小させることが必要になってきた。財政難のもとで財源を有効活用するために町職員が「事業仕分け」に取り組んだ話を聞いた。

**町長** 限られた財源のなかで、有効で効率的な予算執行を心がけ「持続可能なまちづくり」を推進する。通常経費以外の投資的経費や各種事業の見直しも行っていかねばならないと考えている。



杉上忠義

**問** 府と北部5市2町、民間が一体となった取り組み新たな観光戦略「海の京都」がスタートした。本町の目標である観光客80万人を達成するのに、この戦略をどう活かすのか。戦略拠点の「ちりめん街道」と町内観光施設とのネットワーク強化が求められるが。

**町長** この構想での様々な事業展開を広域観光まちづくりの絶好のチャンスととらえ、産業振興にも活かしていきたい。

**海の京都構想と観光**

※ U・P・Z（緊急防護措置計画範囲） 原発から30キロ圏内放射線量が基準値を超えたときに非難ができるよう、計画を立てる区域。

# 平成25年1月～3月議会 賛否一覧

賛否の分かれた議案のみ掲載

○印は賛成 ×印は反対  
(議長は賛否同数の時のみ態度を表明し、議案成否を決定します)

議員名 議案	賛成 反対	野村生八	和田裕之	有吉正	杉上忠義	塩見晋	宮崎有平	伊藤幸男	浪江郁雄	家城功	山添藤真	小林庸夫	多田正成	井田義之	糸井満雄	勢旗毅	谷口忠弘	今田博文	赤松孝一	
		クアハウス岩滝の指定管理	15:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	欠	○
職員給与(3%削減)条例改正	16:1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
大阪行き高速バス…請願	3:13	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	○	欠	×	—	
議員定数削減(▲2人⇒16人)条例	11:6	×	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
個人連帯保証人の廃止…意見書	16:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	—	
学校図書館蔵書…請願	16:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—	
子どもの教育環境整備…請願	3:14	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—	

## 請願

《不採択》  
「大阪行き高速バス路線(加悦・福知山経由)の再開を求める請願書」  
▶ 請願者代表 与謝野町算所 細井正樹氏  
▶ 紹介議員 山添藤真

《不採択》  
「子どもたちにゆきとどいた教育をすすめるための教育予算増額、教育諸条件の整備・充実を求める請願書」  
▶ 請願者 与謝野町弓木 井上正則氏  
▶ 紹介議員 伊藤幸男

《趣旨採択》  
「学校図書館の蔵書整備・充実に関する請願書」  
▶ 請願者 与謝野町加悦 永井久仁明氏  
▶ 紹介議員 谷口忠弘

## 意見書

《賛成多数》  
「個人連帯保証人制度の早期廃止を求める意見書」  
▶ 提出者 勢旗 毅

## 要望・陳情書など

「違法な臓器生体移植を禁じることを求める陳情書」  
▶ 陳情人：伊丹市北伊丹 井田敏美氏

## 町施設の指定管理者の指定

—平成25年1月議決分—

### 古墳公園 (明石)

▶ 指定管理者 丹後王国古墳公園保存会合同会社  
▶ 指定管理期間 平成25年4月1日～28年3月末  
▶ 指定管理料 850万円/年

### 野田川森林公園 (三河内)

▶ 指定管理者 合同会社コミュニティ野田川  
▶ 指定管理期間 平成25年4月1日～30年3月末  
▶ 指定管理料 485万円/年

### クアハウス岩滝 (岩滝)

▶ 指定管理者 ドルフィン株式会社  
▶ 指定管理期間 平成25年4月1日～30年3月末  
▶ 指定管理料 2,300万円/年



—宇観公園から望む阿蘇海

Q 法による義務の不平等は改めるべき  
A 旧3町の地域特性の歴史も大切に

**問** 合併から7年経過したが、岩滝地域の都市計画、加悦地域の景観条例などにより、土地利用、家屋の建築等、義務の不平等が現存している。一体感の醸成のためにも、条件整備が必要でないか。

**町長** 岩滝地域は宮津都市計画区であり、旧3町のまちづくりは地域特性で行われてきた。一体感だけでなく、町全体のイメージの完成が先であ

り、慎重に考えたい。

**問** 町所有の遊休資産84件、25万㎡の活用方針が後期基本計画に明示されていない。

**町長** 売却予定地11件8千㎡を分譲宅地同様に地元業者に協力願えないか。



井田 義之

○未処分予定地と成っている土地の再見直しを。

**副町長** 町有財産活用推進委員会について、25年度中の売却を予定し測量予算を計上した。提案は今後の課題とする。

**阿蘇海が泣く…**

**問** 阿蘇海の宮津市との境界確定により地方交付税が増える。府市、町一体で浄化の基金とし活用しては。

**町長** 宮津市と協議していないが、増額分は阿蘇海の浄化に活用したい。



天高く 古墳公園のこいのぼり



与謝野町

議会だより

第28号

発行：与謝野町議会  
住所：〒629-2898

編集：与謝野町議会広報特別委員会  
京都府与謝野町与謝野字加茂（加茂庁舎3階）

TEL:(0772)43-0215  
FAX:(0772)43-1555

URL:http://www.town-yosano.jp  
E-mail:gikai@town.yosano.lg.jp

まちの宝

子どもページ

## 石川学童クラブ

「OO（指導員）さん、おはよう～」 「ハア～イ おはよう～」と元気な声がとびかう朝のひとつ。ここは、町内に6つある学童保育施設のひとつ「石川学童クラブ」です。今年も新一年生を迎えて、4月初旬のある日24人（登録）の春休み保育の真っ最中です。

学童保育は、学校放課後や学期休暇時に保護者が就業などによって家庭に不在で保護できない小学3年生までの児童を夕刻まで安全に保育する目的で、町の施策として行われ社会福祉協議会が運営を受託しています。

この石川学童クラブは、野田川国保診療所の隣にある旧医師住宅において、交代制による常時3～4人体制で指導員が児童とのふれあいを大切に、物づくりやゲームそして異学年の仲間づくりなど“目線”を同じにして、みんなで思いやりと笑顔あふれる仲良しクラブをめざしています。工夫をこらした行事や雰囲気づくりなど、児童のみんなが「学童クラブが楽しみです」といってくれることを励みに、指導員は研修や意見交換で保育の向上に努めています。体調の変化や元気いっぱいの子どもの安全第一などに気配りしながら、学校との連携そして「クラブだより」の発行や保護者との情報交換を図って、今後ともなごやかに「また明日もね」とお互いと言えるよう今日もみんなでふれ合っています。

（社協事務局）



がんばっています

## 交流拠点の更なる構築へ

合同会社 コミュニティ野田川

代表社員 岩間 脩



与謝野町の三河内地区にある「森林公園」と公園内に併設された「京都府ユースセンター」の管理運営をさせていただいている「合同会社「コミュニティ野田川」でございます。

弊社のコンセプトはこの町に住み、この町で生き、この町を誰よりも愛する者の集団」として「施設の活性化」「交流拠点の構築」そして「地域活性化」を掲げ、役員スタッフ一同一丸となって取り組んでいます。

公園は四季折々の風景を醸し出し「癒しの場」として多くのお客さまにご来園いただいています。また、ローラー滑り台や幼児向け遊具が好評で家族の憩いの場としてもご利用いただいています。

ユースセンターは京都府の「青少年健全育成施設」ですが、青少年の利用にとどまらず、宿泊、研修、パーティーの場として多くのお客さまにご利用していただいております。とりわけ、食事の提供はお客様のニーズに対応できることで大変好評を得ています。

で、ご賞味いただければと思います。まだまだ、施設の紹介をさせていただきたいところですが「聞くより体験が一番！」是非、ご来場いただけますようお願い致します。

なお、本年4月から引き続き、本施設の管理運営を受託させていただきますことになりましたが、弊社のコンセプト交流拠点の構築を目指し、役員、スタッフ一同一、更なる精進を重ねてまいります。

